



TOPIX

1. 八幡浜市弓道場 落成記念行事のご報告(弓道)
2. 小さな勇者が大舞台へ!愛媛県の星、全国へ(相撲)
3. 「愛媛県全中2025in長野及び日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」(空手道競技)の開催について(空手道)
4. イベントのお知らせ

●発行 公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団
●愛媛県武道館
【開館時間】午前9:00～午後9:00
【住所】愛媛県松山市市坪西町551番地
【休館日】毎週月曜日 / 年末年始
(月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日)
【TEL】089-965-3111 【FAX】089-965-3388
【ホームページ】<https://ehime-spa.jp/budoukan/>
【よく〜る】<https://yoyacool.e-harp.jp/ehime>



1 八幡浜市弓道場 落成記念行事のご報告

執筆/愛媛県弓道連盟 理事長 桧垣 充宏

令和7年6月8日(日)、八幡浜市に新たな弓道場が完成し、市主催による落成記念行事が盛大に開催されました。南予地方では宇和島市、大洲市に次ぐ三つ目の弓道場であり、県内では久しぶりの新設となります。市政20周年の節目に誕生したこの道場は、地域の弓道振興に大きな期待が寄せられています。

式典では、大城一郎八幡浜市長より「市民の関心が高まる中、記念の年に弓道場が完成し喜ばしい」とのご挨拶をいただきました。市長ご自身も弓道教室への参加を予定されており、弓道への熱意が伝わってまいりました。続いて、佐々木加代子市議会議長、渡邊豊愛媛県弓道連盟会長より祝辞が述べられ、関係者によるテープカットが行われました。

渡邊会長による巻藁射礼の披露の後、八幡浜高校弓道部をはじめ、県内各支部や高校・大学代表者による一手祝射が順に行われ、場内は厳かな雰囲気になりました。さらに、弓道YouTuber「びいふしちゅー」さんの登場で会場は一気に盛り上がり、餅まきによって祝賀ムードは最高潮となりました。

式典後の内覧会では、参加者の皆様が真新しい道場を隅々まで見学され、「広くて引きやすい」といった感想が聞かれました。試射会も大盛況で、道場の完成を実感するひとときとなりました。

八幡浜市弓道場は、海を望む静かな山の中腹に位置し、黒を基調とした外観が威厳を感じさせます。屋内には天然木材がふんだんに使われており、自然の温もりが漂う空間となっています。県内では二番目の規模を誇り、競技会や合宿にも対応可能な本格的な施設です。県弓道連盟では、講習会や審査会などの行事を通じて積極的に活用し、振興の拠点として育ててまいります。

現在、八幡浜支部は立ち上がったばかりで、会員数も少ない状況ですが、地元高校に弓道部があるなど、文化的な土壌はしっかりと息づいています。

今後は、経験者の掘り起こしや初心者教室の開催など、地道な活動を粘り強く続けてまいります。

この弓道場が、弓道を通じて人々が集い、技を磨き、心を育む場となること。そして若者たちが学び、成長し、地域に戻ってくる拠点となることを願っております。今後とも、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



(八幡浜市弓道場外観)



(八幡浜市弓道場祝射)

弓道
Kyudo



愛媛県武道館

鏡開式

申込
不要

当日先着**300名様**に
記念品プレゼント!
演武終了後に餅まきを行います



場所 愛媛県武道館 主道場

プログラム 【式典】9:30【演武】10:00~11:30【稽古始め】12:00~13:00

主催 (公財)愛媛県スポーツ振興事業団
愛媛県武道団体協議会
後援 (一財)愛媛県柔道協会 / (一社)愛媛県剣道連盟 / 愛媛県弓道連盟 / 愛媛県相撲連盟 / 愛媛県空手道連盟 / 愛媛県合気道連盟 / 愛媛県少林寺拳法連盟 / 愛媛県なぎなた連盟 / 愛媛県銃剣道連盟
愛媛県 / 愛媛県教育委員会 / 日本武道協議会
(公財)愛媛県スポーツ協会 / 愛媛新聞社 / NHK松山放送局
南海放送 / テレビ愛媛 / あいテレビ / 愛媛朝日テレビ
FM愛媛 / 愛媛CATV

2 小さな勇者が大舞台へ!愛媛県の星、全国へ

執筆/愛媛県相撲連盟 常任理事 若松 良健

令和7年7月27日(日)、愛媛県総合運動公園相撲場で「2025愛媛県小学生相撲選手権大会」が開催されました。県内各地から14団体、総勢83名の選手が出場し、力強いぶつかり合いや素早い技の応酬で会場は大いに盛り上がりました。

この大会の個人戦では、4年生以上のベスト6に入賞した選手に四国大会への出場権が与えられました。また、愛媛県代表の団体チームは、各学年の1位から3位の選手で編成され、愛媛の誇りを胸に四国大会に挑みます。



(2025愛媛県小学生相撲選手権大会)

四国大会でのさらなる活躍を目指し、8月17日(日)には内子町知清公園相撲場で合同稽古が行われました。8月31日(日)の四国大会に向け、選手たちは真剣な表情で稽古に励み、汗を流した後は皆でカレーを囲んで交流を深めました。四国大会では、各学年でベスト4に入賞すると全国大会への出場権が得られます。個人戦ではありますが、「チーム愛媛」として力を合わせ、全国大会出場を目指します。応援をよろしくお願いいたします。



(8月17日稽古写真)



(8月17日集合写真)

令和7年8月31日(日)、香川県総合運動公園相撲場で開催された「第38回全日本小学生相撲優勝大会四国予選」に、愛媛県予選を勝ち抜いた精鋭たちが出場しました。全国大会への切符をかけて、選手たちは日頃の練習の成果を力いっぱい発揮しました。

愛媛県勢は、四国各県の強豪選手たちと熱戦を繰り広げました。残念ながら4年生は全国出場を逃しましたが、そのレベルの高い取り組みは、今後のさらなる成長を期待させるものでした。

激戦が続く中、5年生の部では野村少年相撲クラブの河野元希選手が見事3位に入賞し、愛媛県勢として全国大会出場第1号を決めました。

そして、6年生の部では、長年培ってきた相撲勘が光る、ハイレベルな取り組みが展開されました。その中で、愛媛県勢はなんと優勝と準優勝を独占する快挙を達成!優勝したのは、愛媛県予選から圧倒的な強さを見せていた宇和島相撲愛好会の河野俊士選手です。

この結果、愛媛県から合計3名の選手が全国大会への出場権を獲得しました。



(第38回全日本小学生相撲優勝大会四国予選)



(第38回全日本小学生相撲優勝大会四国予選取組写真)

3 愛媛県全中2025in長野及び日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会(空手道競技)の開催について

執筆/愛媛県糸東会事務局 和田 透・三瀬 裕貴

『全中2025in長野』・第33回全国中学生空手道選手権大会が、8月15日(金)～17日(日)の3日間ビックハット(長野市若里多目的スポーツアリーナ)で開催されました。競技種目は、団体形・組手別(男女別)、個人形・組手別(男女別)の計8種目で行われました。

昨年まで、団体戦の参加条件が学校単位でしたが、今年から道場(クラブ)チームでの参加が可能となり、愛媛県の予選会においても参加チームが増加し、競い合いが激化しましたので上位入賞が期待されましたが、残念ながら入賞者の輩出は出来ませんでした。

また、空手WEEK2025エアトリ杯・第25回全日本少年少女空手道選手権大会が、8月21日(木)～24日(日)の4日間東京武道館で開催されました。

競技種目は、男女別で学年別、かつ形・組手別の計24種目で行われました。

大会は各種目単位で、およそ160名前後が参加し、出場総数3,800名余りの選手が一同に競い合う、小学生最大で最高峰の大会となりました。愛媛県からも78名の選手が各種目に参加しましたが、残念ながら入賞者はいませんでした。

一方、中高年の部では、9月20日(土)～22日(月)の3日間、日本スポーツマスターズ2025愛媛大会(空手道競技)が愛媛県武道館(全館貸切)で盛大に開催されました。

このマスターズ大会は、全国から35歳以上のアスリートが参加するスポーツの祭典であり、愛媛県では初めての開催となりました。

参加する選手は、スポーツの愛好者の中でも競技志向が高く、生涯スポーツの模範となる方々により、空手道競技を含み13競技が行われ、約8,000人が参加しました。

空手道競技(愛媛選手)の成績は、男子形4部で永木満選手・男子組手3部で稲葉洋一選手がそれぞれ5位に入賞し、会場を沸かせました。

大会役員・競技会役員の先生方、また競技役員さんの連携で本当にスムーズな競技進行を運行頂き、無事終了することが出来ました。大変ご苦勞様でした。

今後は小・中学生とも、道場単位・会派単位を越えた合同練習等による技術強化、また選手の意識改革のためメンタル(精神面)強化の両面強化を並行して行うことが、入賞者輩出する早道になるのではないかと分析されます。

空手道を通じ、実社会に十分に通用する人格形成の誘導・指導が、本来の目的であると思われますが、上位入賞は連盟・道場・選手にとっても宝物になります。

連盟全体で少しずつでも良いので、前に向かって進んで行く事に期待します。



(第33回 全国中学生空手道選手権大会)



(日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会)



(男子組手3部 稲葉洋一選手)